キャラクター名	プレイヤー名
レイン・ムーンライト	

ポジション	オートマトン	**享年**	14
メインクラス	バロック	**暗示**	絶望
サブクラス	バロック	**寵愛点**	5000

初期配置	煉獄
最大行動値	40

能力値	クラス	修正	合計
武装	0	18	18
変異	4	14	18
改造	0	12	12

記憶のカケラ	内容
さがしもの	探さなくてはいけないものがある。それはとても大切なものなのだ。それが何か覚えていなくても、探さなくてはいけない。それを見つけなければ、心にぽっかりと穴が空いたままなのだから。
焼却炉	閉じ込められた小さな箱の中、熱、煙、燃料、誰も答えてくれない。あなたは生きたまま火葬された。あれは事故だったのか？　おそろしい何者かの悪意だったのか？　あの恐怖と絶望は誰のせいだったのか？
決闘	数百の観客が見守るなかいた広場に、数種にして最強のふたりがいた。数百個以上、数千の攻撃が飛び交った。数百の足音が広場に響いた。数百の武器が衝突した。数百の血が流れた。数百の命が失われた。数百の人生が終わった。一部の者は、この決闘を誇りに思っていた。数百の者は、この決闘を悔やんでいた。一部の者は、この決闘を見て笑っていた。数百の者は、この決闘を見て泣いた。数百の者は、この決闘を忘れようとした。数百の者は、この決闘を一生忘れなかった。一部の者は、この決闘を覚えていなかった。数百の者は、この決闘を見ていなかった。数百の者は、この決闘について何も知らなかった。数百の者は、この決闘について何も考えなかった。数百の者は、この決闘について何も感じなかった。数百の者は、この決闘について何も思わなかった。数百の者は、この決闘について何も言わなかった。数百の者は、この決闘について何もしなかった。数百の者は、この決闘について何もできなかった。数百の者は、この決闘について何もしようとしなかった。数百の者は、この決闘について何も知ろうとしなかった。数百の者は、この決闘について何も考えようとしなかった。数百の者は、この決闘について何も感じようとしなかった。数百の者は、この決闘について何も思おうとしなかった。数百の者は、この決闘について何も言おうとしなかった。数百の者は、この決闘について何もしようとしなかった。数百の者は、この決闘について何もでき